

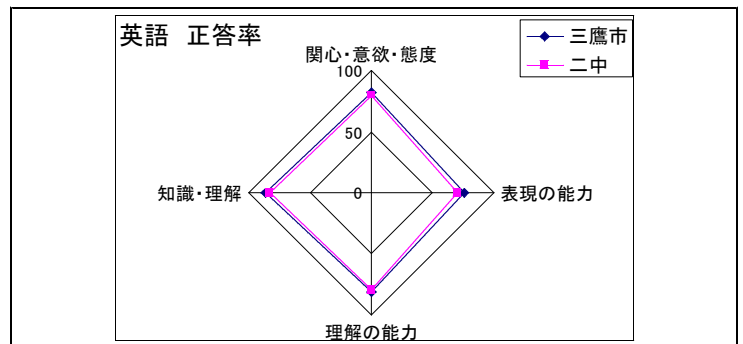
三鷹市立第二中学校 (英 語) 科 授業改善推進プラン (分析)

東京都教育委員会「児童・生徒の学力向上を図るための調査結果」
三鷹市教育委員会の学習定着度調査の分析

1 東京都教育委員会の実施した「児童・生徒の学力向上を図るための調査結果」の分析

内容別結果の分析	観点別結果の分析	内容・観点のクロス分析
各内容で、都の平均正答率を上回っているが、三鷹市の平均正答率を下回っている。	各観点で、都の平均正答率を上回っているが、三鷹市の平均正答率を下回っている。	「聞くこと」・「読むこと」では「理解の能力」が三鷹市の平均正答率を全てを下回っている問題が多い。「読むこと」では、「知識・理解」で、「書くこと」では、「知識・理解」・「表現の能力」で三鷹市の平均正答率を5ポイント近く下回っている問題がある。

	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	79.4%
表現の能力	70.3%
理解の能力	78.9%
知識・理解	83.3%



2 三鷹市教育委員会の学習定着度調査の分析

	データからみた特徴	分析内容
全体正答率		
内容別正答率		
観点別正答率		
達しない生徒の割合	期待正答率に	

三鷹市立第二中学校（英語）科 授業改善推進プラン

3 指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○正確な、または豊かな表現力で書いたり話したりする力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構文を理解するよう、パターンプラクティスを行う。 ○ペアワークなどの会話活動では、問いに対する答えにさらに一文付け加えるようにする。 ○教師自身ができるだけ多く、自然な表現の英語を使い、生徒にインプットする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補充英語では、語順を正確に覚えられるよう、基本文の反復練習を行う。 ○発展英語では、自分の気持ちや身近な事柄を相手に伝える力をつけるため、会話練習を多く取り入れる。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ○英語の文構造（特に語順）の定着について、不十分な面が見られる。 ○「話す力」に関しては、意欲もあり、力がついてきているが、書いて表現する力は不十分である。 ○生徒の習熟の差が大きくなってきている。意欲の面でも差が広がってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項の反復練習を授業中に計画的に実施する。また、宿題でも取り組ませ、家庭学習の充実を図る。 ○英語の日記や言語活動後の報告など英語で書く機会を多く設定する。 ○英語の得意・不得意にかかわらず、「英語は楽しい」と生徒が思えるような授業を展開していく。（言語活動やワークシートの工夫） 	<ul style="list-style-type: none"> ○補充英語では、1年生の復習を中心に、基礎的な文構造が理解できるよう、主語や動詞の種類を認識できるように、反復練習を行う。 ○発展英語では、長文読解などの問題演習に多く取り組み、発展的な力（語い力、読解力）がつくようにする。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○語彙や基本英文の定着が不十分である。 ○生徒の学力差が大きく、基礎学力の定着を図るあまり応用的な表現を身につけさせるに至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝学コンテストを定期的に行い、基礎学力の定着を図る。 ○教科書の基本英文を基に、身近な事柄を既習の英語表現を用いて表現する（話す・書く）活動を多くする。 ○教科書を基にした長文を取り入れ、定期試験に出題する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補充英語では、文の構造及び語彙を理解させ、基本問題演習により定着を図る。 ○発展英語では、教科書以外の応用問題演習により、関連表現を教える。英検対策を実施する。